

演奏中、お客さまとの コミュニケーションが楽しい

ピアニスト
常盤 充代さん(34歳／志摩小金丸)



呼吸を整え、精神を統一。高められ研ぎ澄まされた集中力が、リズムカルで時に力強い指の動きへと伝わる。魂を吹き込まれたピアノは、楽器でありながらあたかも意思を持った生命体のように躍動する。糸島市近郊のホールやレストラン・ホテルなどでリサイタルを展開する常盤さんの演奏は、聴衆を躍動感溢れる音楽の世界へ誘ってくれる。

小学2年生の時、叔父の結婚式で「演奏してよ」と渡されたのがリチャード・クレイダーマンのレコードと楽譜。それを機に彼の曲のとりこに。クラシックを主としながら、映画音楽やジャズ作品の音楽など、ポップで親しみのある楽曲も披露するなか、リサイタルでの曲間にトークをしながら指が奏でるBGMは、自然とクレイダーマンの曲になるほどだ。「今だからできる事に新たに挑戦したい。今年は、バツハの作品を柱にして取り組みます」と決意をみなぎらせる。

糸島で生まれ育った常盤さんは志摩の豊かな自然が大好き。よく近所を散歩するんですが、

擦れ違つのはクラスくらい(笑)。歩きながらリサイタルのトークの練習をしたりして、気持ちの整理ができるんですよ」と清々しい笑顔で語る。



リサイタルで演奏する常盤さん

今後も、私たちの身近で、素晴らしい演奏を聴かせてくれることでしょう。



うちの子 紹介19

末継 結大くん(右)
坂本 脩真くん(左)
(6歳と1歳／篠原東・前原北)
末継重明さん・容子さんの長男と坂本脩一さん・結佳子さんの長男

4歳ちょっとしか変わらないけど、叔父と甥の関係の二人。いつも一緒にいる環境で育ったので、兄弟同然です！二人とも乗り物が好きで、新幹線や車のおもちゃで仲良く遊んでいます。

5月下旬には、もう一人仲間が増えるから、今度は3人で仲良く元気いっぱい遊んでね！

市民のみなさんの、お子さんへのメッセージをお待ちしています。
申し込み・問い合わせ／糸島市秘書広報課 ☎(332)2111

自主防災組織

市民力の結集で 災害に即応



東風校区行政区長会 会長
泊二区 区長
藤野 正博さん

実践型の 自主防災組織を

泊二区では、昨年9月に5班からなる自主防災組織を設立しました。特徴は、1班が救出消火、2班が避難誘導、3班が手当て・介助、4班が炊き出し、5班が情報収集・伝達と、役割分担を課したこと。これにより、それぞれの班がなすべきことを主体的に行うことで、効率的な活動ができるものと思っています。

班長は、消防署職員OB、現役消防団が率先して引き受けてくれました。みんな、緊急時にはすぐに駆けつけることができる自営業者・近隣の勤め人ばかりです。役員には、福祉委員も含まれており、要介護者との連携も行える体制が整っています。

日ごろ、役員間で何度もバケツリレー・応急処置などの防災訓練を実施。1～2か月に1度は消火栓(6か所)、防火水槽(4か所)の点検も行っています。担架・土のうなどの必要資材も、消防経験者の指導の下、手作りで揃えています。住民それぞれが持

つ知識・経験をフルに活用し、いつでも十分に機能できる実践型として設立した、肝いりの組織です。

平成17年の福岡県西方沖地震を経て、昨年は東日本大震災を経験とにたく避難することのたいせつさを痛感しました。非常時には、公的

救助を待っていては間に合わず、「自助・共助」で乗り切らなければならないことが明らかです。原発事故時の避難については、市・県の指揮を必要とするものですが、それ以外の自然災害には自主防災組織で対応すべきだと思っています。せっかく作った組織が「仏作って魂入れず」であってはならない。日ごろから「向こう三軒両隣」の助け合いの精神を持って、いざというときに即応できる体制を整えておくことが必要ではないでしょうか。



手作りの簡易担架で訓練する様子

校区全体で避難訓練

新たに誕生した東風校区は、今年7年目を迎えます。農村地域と市街地で生活環境ははっきり分かれていますが、積極的に交流を持つよう努めています。水害の恐れがある泊三区・潤、志登地域の住民は、高台のある泊一・二区へ避難するなど、校区全体で避難経路を決め、全体訓練も実施しています。こうした取り組みを今後も充実させ、住民の防災意識向上を促していきたいと思っています。